

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



### ■ 国体が終わりました

本市では10月2日から競技が始まった国体も、8日に本市での引き受け種目全部が終了しました。市役所の職員もほぼ総出の状況でしたが、競技会関係者、それにたくさんの市民ボランティアに支えられ、本市での国体を成功裡に終えることができたことを、感謝の気持ちとともに、まずみなさんにご報告したいと思います。

花いっぱい運動を始め、全国から来訪される選手団への「おもてなし」の準備には、たくさんの市民のご協力をいただきました。国体が近づくにつれ、気運の盛り上げにもご協力をいただきました。各地のまつり等の行事に合わせて、「炬火」の採火もしていただきましたね。本番当日は、市民の手になるうどん、焼き芋、貝汁などを来場者に振る舞っていただき大好評でした。会場周辺では各県を応援する幟のぼりが風にはためき、また、サッカー場での園児や児童のかわいい応援団も、選手を随分励ましてくれました。野球場での本市高校生によるブラスバンドと声援には、出場チームから感謝の言葉が寄せられました。その他いろいろお手伝いをしていただきました。市民のみなさん、本当にありがとうございました。

10月22日(土)からは、国体の後半戦ともいうべき「全国障害者スポーツ大会」が開かれ、本市では、サッカーを引き受けています。3日間の予定ですが、引き続きみなさんのご協力をお願いいたします。

### ■ JR 美祢線が全線復旧しました

昨年7月15日厚狭川が氾濫した日、上流での集中豪雨で鉄橋が流され、以来、JR 美祢線は全線にわたり運休が続いていました。昨今の車社会の中で利用者も激減し、存在感も薄れかけていましたが、この度、県の財政支援もあり、JR 西日本の高度な技術力をもって復旧工事が完成し、先月26日運転が再開されました。

本市、特に厚狭地区は古来、交通の要衝（交通の上で特に重要な地点）といわれ、近代化の中でJR 美祢線はその重要な一翼を担ってきました。「引きちぎられた体の一部がよくぞ戻ってきてくれた」。これが運転再開の日の私の率直な感想でしたが、みなさんはいかがでしたか。

このJR 美祢線を将来にわたり守り抜くため、本市と美祢市、長門市を含めた3市の利用促進協議会ができていますが、これとは別に本市独自の組織を立ち上げ、多くの市民のみなさんに、JR 美祢線を多様な用途にご利用いただきたく検討をする予定です。みなさんのアイデアをお寄せください。

### 対話の日

10月27日(木) 19:00～  
加藤公会堂

11月24日(木) 19:00～  
石井手自治会館